

広
報

常陸大宮

2025

1

No.244

特集

県無形文化財指定

西の内紙

【表紙】

西の内紙をすいたあと、すから紙をはがす作業の様子です。西の内紙は、ユネスコ無形文化遺産登録や国無形文化財指定の和紙にも引けを取らない高品質な和紙です。常陸大宮市産の原料「楮」と、確かな紙すきの技術から生み出される西の内紙は、江戸時代には幕府や大名間の通達などに使用され、現在では市内小中学校・高校の卒業証書や、茨城県民手帳にも使われています。

令和 新年のご

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年本市は市制施行20周年を迎え、7月には「ひたち大宮夏祭り」で北関東最大級のドローンショー、10月には「市制施行20周年記念式典」、12月には「全早明野球戦常陸大宮大会」など、各種記念事業を行いました。今後も皆様に愛される市として発展していけるよう、魅力ある施策を展開してまいります。

さて、本市では現在、「人口流出を防ぐための強靱なダム(政策)の構築とその実践」を政策プロジェクトに掲げ、誰もが住み続けたいと思える市の実現に向けて、各事業を進めているところです。

まず、「常陸大宮駅周辺整備事業」では、新駅舎が2月に供用開始、東西自由通路が来春に完成予定など、各種工事に着手しているほか、本市への移住定住を目的とした「子育て世帯向け住宅整備事業」では、間取りを自由に変えられる「スケルトンインフィル工法」を取り入れ、本年3月に入居者の募集を開始する予定です。

また教育分野では、学力向上にコミットする教育の推進を図るため、児童生徒一人ひとりの学習面や個々に応じた指導、支援を行いながら学習向上に取り組む「確かな学力育成プロジェクト事業」を推進するとともに、児童生徒が読書の楽しさを体験し習慣化を図る

ことを目的とした「ひたまる読書活動推進事業」を引き続き行ってまいります。

さらに観光および産業振興では、振興財団と観光協会を統合し、利用者目線による観光物産施策を進める観光地域づくりの司令塔とすることによって、地域の稼ぐ力を向上させ、域外から人や資金を呼び込む事業を推進します。

農業振興では、慣行、有機を問わず農業の担い手確保に繋げるための人材育成の機関として「常陸大宮市農業アカデミー」の創立を目指すとともに、農業の基本を学び自立できる環境を推進していきます。

これらの事業を推進しながら、知恵とアイデアを最大限に引き出し、スピード感と結果にこだわった市政運営に邁進し、生活の向上と魅力ある常陸大宮市の発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様にはより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸、そして実り多き輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



常陸大宮市長
鈴木 定幸

7年 あいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃から、議会活動に対しまして、温かいご支援ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年は、市内各地で多くのイベントが実施されるなど、人々の賑わいが戻ってきたと感じる機会も多かったです。しかしながら、依然として、物価高騰等の影響が続いており、市民生活や地域経済の厳しい状況に変わりはありません。市民の代表として、一刻も早い市民生活の安定と向上に向け、邁進してまいります。

本市は、昨年10月16日に市制施行20周年を迎えました。さまざまな記念事業が開催され、先人が築き上げたこのまちの魅力を未来へと繋いでいきたいという思いが、より一層強くなった一年でした。

4月の市議会議員補欠選挙では、新しく2人の議員が選出され、新たな体制となりました。今後も、市民の皆様の負託と信頼に応え、皆様の意見を市政にしっかりと反映できるよう、全力で取り組んでまいります。

議会改革の取組では、本会議などの内容を知っていただけるよう常陸大宮市議会Facebook、Instagramで発信しております。また、昨年12月の定例会からは本会議のライブ配信を導入いたしました。さらに、一昨年に引き続き、市民や市内高校生との意見交換会を開催しました。今後も、広聴機能を強化し、議会の見える化など、より開かれた議会を推進してまいります。

令和4年に立ち上げた「議会改革推進特別委員会」の調査結果が報告され、オンライン会議の導入や政策提言組織の設置など、議会機能の充実・強化と市民に開かれた議会の構築に向けた速やかな対応が求められました。また、9月には「議会議員定数検討特別委員会」を立ち上げ、議員定数に関する調査、検討が行われ、議論の結果、現行の18人から2人削減し、議員定数を16人とする調査結果が報告されました。これら二つの特別委員会の調査結果を踏まえ、条例等改正が必要なものについては、早期に対処してまいります。

我々市議会は、市行政に対する監視機能を十分に発揮することはもちろんのこと、市執行部と議論を重ね、的確な判断をしておりますので、引き続き皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、まだまだ不安定な社会情勢が続いている状況において、支え合う気持ちと思いやりのある行動が大切だと感じております。市民の皆様が健康で幸せに満ちた年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



常陸大宮市議会議長
大貫 道夫



特集

県無形文化財指定

西の内紙

紙の原料「楮」の生産に適した市の気候

西の内紙は楮という植物を原料として作ります。茨城県北西部(常陸大宮市、太子町)は楮が好む寒暖差のある気候で、紙作りに適した質の楮が育ちやすい地域です。江戸時代、県北西部で育った楮は、栃木県を流れる鬼怒川を使って、江戸まで運ばれていたことから、「那須楮」と呼ばれ、県外にも広く流通していました。現在でも、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている岐阜県の本美濃紙ほんみのしや、人間国宝がすく越前和紙の原料としても使われています。

江戸での紙需要から水戸藩随一の商品となった西の内紙

紙づくりは、奈良時代から行われていましたが、最も盛んに紙作りが行われるようになったのは、江戸時代になってからです。江戸の発展に伴い、紙の需要が莫大に増加したことで、品質の高い原料と紙すきの技術がそろった茨城県北部では、紙の増産を迫られました。生産・流通量が増加したことで、水戸藩でも随一の商品となり、農家が作物の取れない冬の時期の仕事として行っていました。

卒業証書や県民手帳にも使われている西の内紙

西の内紙は、市内小中学校・県内高校の卒業証書にも使われています。一部学校では、自分の卒業証書を自分の手ですく体験も行っています。また、茨城県民手帳の表紙としても使われており、毎年、茨城県を象徴する花などをテーマに、紙すき職人がデザイン考案から携わっています。他にも、御朱印帳や着物の帯を作成するための糸、講談師が使う張扇はりせんなどにも使われ、県外からも需要がある西の内紙は、常陸大宮市が誇る特産品になっています。



▲西の内紙の卒業証書。校章を印刷した紙を2枚の西の内紙で挟み込んで作ります。

濡れても乾かせばまた使える丈夫な紙

西の内紙の最大の特徴は「丈夫さ」です。その丈夫さを象徴する江戸時代の商人のエピソードがあります。

江戸時代、商人は販売の情報を「大福帳」という帳簿に記録し、年に1回、まとめて料金を払うシステムを取っており、客ごとに大福帳が作られていました。火事が多かったこの時代、炎から大切な顧客情報を守るため、井戸に大福帳を投げ込み、火事が収まった後に回収し、大福帳を乾かしていたそうです。西の内紙の大福帳は、濡れても乾かすと、井戸に入れる前と同じように、また1ページずつめくれることから、商人に愛用されていました。

それ以外にも、身分に関わらず、さまざまな用途で西の内紙が使われました。幕府や大名間の通達などに特に質の良い西の内紙が使われ、庶民の間では、布よりも紙の方が手に入りやすいこと、楮の節などの固い部分が混ざった書くことは不向きな紙でも十分な強度があることから、傘や作業服を作る際にも使われました。



◀江戸時代に使われていた「大福帳」（紙のさと蔵）。250年以上の歳月が経った今でも、良い状態で残っており、西の内紙の品質の高さが伺えます。

西の内紙ができるまで

1 1年かけて成長した楮を収穫（2月ごろ）



市内の生産農家では2月ごろ収穫を行います。収穫した切り株からは、また新しい楮が成長し、1年で収穫できるようになります。

2 楮を煮て、「白皮」のみの状態に加工



楮は一度蒸して、水で冷やしたあと、一番外側の黒皮、一番内側の芯を取り除いて、和紙の原料になる白皮のみの状態にし、乾燥して保存しておきます。

3 白皮をソーダ灰で煮て、繊維結合を緩くする



白皮をソーダ灰を入れた熱湯で煮ます。ソーダ灰でアルカリ性にするので、繊維結合を緩くさせ、紙すき作業を行いやすくします。

4 固い繊維など取り除き、繊維を叩く



紙の品質に影響を及ぼす節や固い繊維などを手作業で取り除き、その後、機械で繊維を叩いて柔らかくします。

5 水、粘剤と混ぜて、1枚ずつ紙をすく



楮に水と粘剤と混ぜ、紙をすいていきます。粘剤には小美玉市などで生産されるトロロアオイという植物を使います。

6 金属板の乾燥用機械に貼り付ける



金属板の乾燥用機械に紙を貼り付け、熱して乾燥します。板に張り付いていた側が紙の表側になります。



五介和紙 菊池 浩さん

山方地区に店を構える「五介和紙」。その4代目を務めるのが、菊池浩さんです。紙すきは浩さんを含め2人で担当し、乾燥作業担当1人と合わせて3人で、西の内紙づくりを行っています。

伝統をつなぐため 父のもとで修行を重ねる

浩さんは、高校卒業後、五介和紙の3代目である、父に弟子入りしました。「家族代々、和紙作りを家業としていたので、自分が4代目として継ぐことは自然な流れでした」と浩さん。父のもとで修行を重ね、販売できる品質の西の内紙を安定して作れるようになるまで10年かかったといいます。「特



1 楮と水、粘剤のトロロアオイを混ぜる様子。均一に混ぜるよう、馬鋤を激しく前後に揺らします。この作業での材料の混ぜり具合で、この後行う紙すきの作業の質が変わってくるといいます。**2** 乾燥は浩さんの叔母である正子さんが担当しています。**3** 和紙売り場の隣には、和紙を買いにきたお客にそばを振る舞っていた過去がきっかけで始めたそば店があります。



に、紙の厚みを目や重さでわかるようになるまで時間がかかりました。紙を1枚1枚すく度に、父に確認してもらいながら、感覚を身につけていきました」と話します。

「均一な粘度」が 紙すきのポイント

紙作りの工程の中でも、特に重要なのは、原料の粘度だと浩さんはいいます。粘度が高いと、厚みの調整が難しく、逆に粘度が低いと、その後、脱水や乾燥の工程を行うタイミングで、1枚ずつはが

れにくくなってしまいます。紙すきに適した原料の粘度調整も、長年の経験から身につけた職人の技です。

「未来に技術を繋ぎたい」

浩さんは、この先やりたいこととして、西の内紙づくりの技術の伝承を挙げ、「もし、技術を継いでいきたいという方がいたら、教えたいと思っています」と、今後も代々続いてきた技術を未来へとつないでいきたい思いを話してくれました。

五介和紙

住所：常陸大宮市山方1323 電話：0295-57-6647

営業時間：9:00～17:00

定休日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

五介和紙では、商品販売のほか、西の内版（33cm × 48cm）の大きさの和紙を作る体験もできます。





紙のさと 菊池 大輔さん

舟生地区にある「紙のさと」の店主の菊池大輔さん。岐阜県から移住した曾祖父がはじめた紙すきは大輔さんで4代目で、現在は、大輔さんご夫婦2人で紙作りを行っています。

楮の収穫、加工、 紙すきと多忙な冬季

紙のさとでは、自分たちで育てた楮を使い、商品を作っています。楮の収穫を2月に行い、4月までは、昼間の紙すき作業後、白皮にする作業を行うといます。

また、粘剤に適した水の温度になる冬にしか作ることでできない紙もあり、冬場は紙すき職人の繁忙期になるといいます。



1 商品によって紙すきの水の流し方が変わると大輔さん。写真では、質桁から縦に水が流れて出ていることがわかります。**2** 楮の節や固い繊維などを取り除く「ちりとり」の作業は妻が担当。取り除いたものは固い部分が入っていても品質に影響がない商品に再利用します。**3** 取材中、糸に加工する和紙を仕入れに来客がありました。2mmほどに切って糸に加工したあとは、着物の帯などに使用するとのことです。



依頼者の要望に合わせて 試行錯誤を重ねる

手ですく和紙は、数量や厚みなどの要望に細かく応えられるのが特徴の1つで、全国から、多種多様な注文が入るといいます。糸に加工するための和紙作りでは、糸を紡ぎやすいよう、繊維が縦に並びように紙をすきます。また、「茨城県民手帳」のカバーになる西の内紙のデザインも毎年、発行元と相談して、試行錯誤を重ねています。「令和7年の手帳は、コキア

のイメージと要望があり、色と、かすかな凹凸でコキアを表現しました」と話してくれました。

「自分の商品を良いと思って ってくれる人を大切に」

今後も、依頼者の要望に合わせて、試行錯誤を重ねながら、お互いに良いと思える紙を作っていくという大輔さん。「自分のすいた紙を気に入っている人や、大切に使ってくれる人に寄り添いたい」と依頼者への真摯な気持ちを話してくれました。

紙のさと

住所 常陸大宮市舟生90 電話 0295-57-2252

営業時間 9:00~17:30

定休日 水・木曜日(祝日の場合は営業)、年末年始

紙のさとでは、商品販売のほか、色をつけた繊維を和紙の上に乗せて絵を作る「すき絵」の体験ができます。



令和6年に叙勲・褒章を受章された皆さん(順不同)

※受章者のうち、掲載の承諾を得られた方についてご紹介しています。(死亡叙勲を除く。)

■旭日単光章

小室 正美 さん
(地方自治功労)

平成5年から美和村議会議員、平成16年の町村合併後は市議会議員として在職、その間、美和村議会議長を歴任され、豊富な経験と郷土愛護の精神をもって地方自治の発展に尽力されました。



■紺綬褒章

兼川 良子 さん

画家としてご活躍されており、生まれ育ったふるさとへの感謝の気持ちと、そこで育っていく子供たちの情操教育の一助となることを願い、絵画14作品を市に寄贈されました。



■瑞宝双光章

横山 武志 さん
(防衛功労)

平成29年に2等陸佐として退職されるまで、常におう盛な責任感をもって積極的に職務を遂行し、自衛隊の充実発展に尽力されました。



■瑞宝単光章

小宅 力 さん
(警察功労)

長きにわたり警察職務に精励され、公共の安全と秩序の維持に尽力されました。主に刑事部門において勤務され、数多くの被疑者を検挙して事件解決に寄与されました。



■瑞宝双光章

松岡 宣代 さん
(看護業務功労)

長きにわたり看護職務に精励されました。国立病院機構甲府病院内に設置した新型コロナウイルス感染者専用病棟の運営に携わり、山梨県内の感染管理・防止に大いに尽力されました。



■瑞宝双光章

木村 宏 さん
(教育功労)

平成9年に大宮町立第二中学校校長として退職されるまで、数多くの有為な人材育成を努められるとともに、地域住民と積極的に関わりを持ち、地域と共にある学校づくりに精励されました。



■瑞宝双光章

木村 拓弘 さん
(警察功労)

長きにわたり警察職務に奮励され、主に交通部門において交通安全活動及び街頭指導取締り等の業務を積極的に推進し、交通事故防止に大きく貢献されました。



■瑞宝単光章

大越 充 さん
(警察功労)

長きにわたり警察職務に精励され、公共の安全と秩序の維持に寄与されました。地域に密着した活動を行い、各種犯罪を未然に防ぐなど大きな成果をあげられました。



叙勲・褒章とは

国家または公共に対して功労のある方への表彰を叙勲、社会の各分野で優れた行いや業績のある方への表彰を褒章といいます。

瑞宝単光章

川村 義博 さん
(警察功労)

長きにわたり警察職務に精励され、公共の安全と秩序の維持に寄与されました。交通指導取締り、交通事故での事件の捜査に従事し、安全かつ円滑な交通の確保に尽力されました。



瑞宝単光章

廣木 昇一 さん
(消防功労)

長きにわたり消防業務に従事され、平成23年の東日本大震災では、消防庁からの緊急消防援助隊出動の求めに対し、高い誇りと強い使命感によって被災地である福島県への出動へと導かれました。



瑞宝小綬章

桐原 幸一 さん
(教育功労)

市内では平成18年に茨城県立大宮工業高等学校長に就任され、生徒の希望進路実現に向けた確かな学力の養成と豊かな心の育成に尽力されるとともに、円滑な学校運営に努められました。



瑞宝単光章

桑名 隆行 さん
(鉄道関連業務功労)

長きにわたり日本の鉄道発展に寄与されました。令和元年東日本台風の際には、水郡線全線開通までの計画、施行について詳細に打ち合わせし、現場の指揮を取るなど、復旧に大いに貢献されました。



令和7年 新年賀詞交歓会

恒例の新年賀詞交歓会を市文化センターで開催しました。式典の前には、大宮北小学校3・4年生によるこども歌舞伎が披露され、歌舞伎の指導者を招いて重ねてきた練習の成果を発揮し、来場者から多くの拍手が送られていました。

式典では、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、高額寄附者への感謝状贈呈などを行いました。また会場には、JA常陸奥久慈支部会の枝物が展示され、式典に花を添えました。



10/20 市内各地域で作品展示やステージ発表
~12/8 常陸大宮市文化祭を開催

文化センター●ロゼホールなど市内6会場で、令和6年度常陸大宮市文化祭を開催しました。

文化協会会員や、市内の子どもたちなどが参加し、手編みや写真などの作品展示、芸能、音楽の発表、囲碁大会、茶会などを行い、日頃の練習の成果を披露しました。

開催期間中には合計約4,000人が来場し、多種多様な文化芸術を楽しみました。



▲ 11月16日にロゼホールで行った芸能発表会では13団体がダンスなどを披露しました。

11/30 青少年や市民会議功労者を表彰
 青少年をたたえる市民のつどい

青少年育成常陸大宮市民会議主催の「第20回青少年をたたえる市民のつどい」が開催されました。

式典では、市内小・中学校から応募のあった青少年の主張作文103点の中から、優秀賞6名、会長奨励賞9名の表彰と優秀賞受賞者による作文発表が行われました。また、倒れている高齢者を助けるなどした小学生、中学生、高校生12名が善行青少年として、長年にわたり青少年の健全育成に尽力した4名が市民会議功労者として表彰されました。

11/28 大賀小5年生が仕入れや販売を実践
 かわプラザで「おおがストア」出店

大賀小学校5年生が道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、1日限定で「おおがストア」を出店し、児童が育てた野菜、学区内の事業所等から仕入れた商品を販売しました。また、出店の準備として、商品のさつまいもなどの生産だけでなく、チラシ作りなども児童自ら行いました。

売り上げ金はオンライン交流を行っているパラオ共和国の小学校へのプレゼント、被災地への募金などに充てる予定です。



▲児童たちは「お金の計算をやってみると楽しい」「ゆっくりでいいよと声をかけてもらえて安心した」と話していました。



▲受賞者のみなさん

12/1

東海第二原発事故を想定し実施
原子力災害広域避難訓練

東海第二原子力発電所での不測の事態を想定した「原子力災害広域避難訓練」を上野地区の方を対象に実施しました。

訓練では、防災無線やひたまるアプリなどの訓練放送・通知をもとに、放射線を避けるための屋内退避や避難の訓練を行いました。また、放射性物質が車両や衣服などに付着していないかを調べる避難退域時検査を行うなど、原発事故発生時の対応を確認しました。



▲市の保健師から内部被ばくを防ぐ目的で配布される安定ヨウ素剤についての説明を受けました。

12/5

犯罪被害者等支援の全国作文コンクール
大宮中 山田さんが受賞

警察庁主催の令和6年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール中学生の部で、大宮中学校3年生の山田愛菜さんが警察庁長官官房審議官賞を受賞しました。全国で約6,500点の応募があり、そのうち受賞者は、山田さんを含め、22名でした。

交通事故で我が子を亡くした犯罪被害者の話を聞き、自分の思いを書いたという山田さんは「正直、自信はなかったが素直にうれしい」と話していました。



▲（左から3番目）山田愛菜さん

12/8

さまざまな国の文化・芸術を通して交流
第15回国際交流フェスティバル開催

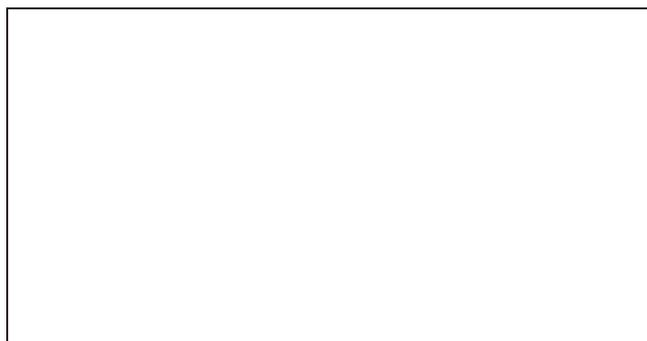
常陸大宮市国際交流協会主催の「第15回国際交流フェスティバル」が開催されました。

今年は「みんなであつなごう！Hearts and Cultures」をテーマに、習字や茶の湯などのワークショップ、各国の特色を生かした楽器演奏やダンスの発表などのステージ発表を行いました。

約150名が参加し、さまざまな国の文化に触れながら、海外出身者と市民が交流を深めるイベントとなりました。



▲ジャマイカ出身者はレゲエダンスの発表を行いました。



12/10

よりよい社会づくりをテーマに意見交換
小瀬高校で行政相談出前講座

小瀬高等学校の3年生を対象に、行政相談委員による出前教室が行われました。

行政相談についての説明の後、「よりよい社会づくり」をテーマとしたワークショップを行い、住んでいる地域で困っていることや今後良くなってほしいことを話し合いました。生徒たちからは、「夜道が暗いところがあるので、街灯を増やしてほしい」、「水郡線の本数を増やしてほしい」など、多くの意見が挙げられました。



▲行政に関する相談などを受け、相談者への助言や行政機関に通知を行うといった行政相談委員の役割を説明しました。

12/19

自作の詩の朗読で競い合う
緒川小「詩のボクシング大会」

緒川小学校で、「詩のボクシング大会」が開催されました。この大会では、各学年から選ばれた代表者が、赤コーナー、青コーナーに分かれ、交代で詩の朗読を行い、聞いている児童が各自タブレットで評価して勝敗を決めます。

発表者は、詩の内容に合わせ、声の大きさや間の取り方など工夫していました。中には、臨場感を高めるため、小道具を用いる子もいました。観客は各発表者の豊かな詩の世界へと引き込まれていました。



▲最優秀選手となった2年生の小森時宗さんは、祖母が入院した時の不安と、その後無事に退院して安心した気持ちを表現しました。

善意をありがとう



大宮地区民生委員児童委員協議会 様
ふるさと祭りおおみやふれあい広場
チャリティバザー売上のうち40,000円(奨学基金へ)



茨城県森林・林業協会 様
茨城県木材協同組合連合会 様
木育・知育絵本10冊

食を通した健康づくりのボランティア 食生活改善推進員として活躍してみませんか？

食生活改善推進員は、各地域で食に関する知識の普及やバランスのとれた食生活の定着を目的に、食を通した健康づくりのボランティアとして活動しており、「食改さん」の愛称で親しまれています。市では約70名の方がボランティアで活躍されています。

食改さんは、市の栄養士をはじめとした専門家から学んだ食の正しい知識をもとに活動を行います。活動で得た知識や経験は、普段の食生活に生かすことができるものばかりです。ぜひ、食改さんとして、地域で活躍しながら食の知識を深めてみませんか？ご興味のある方はお気軽に健康推進課までご相談ください。

食改さんの主な活動内容

保育所や地域の祭りで親子に食育

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた市内保育所等の年長児親子を対象とした親子クッキングを令和6年度から再開しました。また、11月には美和地域の子どもまつりで野菜カレーの試食と野菜摂取についての資料配布や声掛けを行いました。



健康セミナーでの減塩知識普及

食改ブースを設け、だし汁飲み比べ、塩辛さチェック、減塩レシピの配布、1日の食事量の展示等で減塩の大切さについて伝えました。



食育キャンペーン

10月には各地域で「くだもの1日量」の資料配布と減塩レシピの紹介を行いました。



上記のほか、各地域で「生活習慣病予防教室」や地域の行事などにも参加して、地域の方へ食の正しい知識をお伝えしています。

活動に参加した食改さんの声

- ・子どもたちとにぎやかに楽しく過ごせ、おいしいと言ってきて嬉しかった。
- ・コロナ禍で中止していた活動が再開し、交流の場も増えて楽しかった。
- ・子どもから高齢者まで、幅広い世代の方の健康づくりに携われることが嬉しい。



常陸大宮市ができるまで —昭和の大合併—

平成16年(2004)10月16日、大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村の5町村が合併し、常陸大宮市が誕生しました。那珂川・久慈川という2大河川が市内を流れ、県内2位という広大な面積を有する本市ですが、江戸時代には80以上の村々が存在し、異なる生活圈や交通体系の中で人びとの生活が営まれてきました。常陸大宮市文書館では、昨年12月まで企画展「常陸大宮市ができるまで—公文書からひも解く町村合併—」を開催しましたが、今回は、その中から昭和30年代に成立した町村合併について紹介します。

◆昭和の大合併

昭和22年(1947)、地方自治法が施行されたことにより、各市町村は教育・社会福祉・公衆衛生などの事務を独立して運営するようになりましたが、昭和20年代後半になると、経済的な不安から、明治以来の行政区を拡大してさらなる効率化と財政基盤の向上を図る動きが出てきました。そのような状況の中、昭和28年(1953)9月に町村合併促進法が制定されたことにより、再び大規模合併の機運が高まることとなります。

茨城県では、町村合併促進要項を作成し、①3町村以上の合併を基準とすること、②人口規模は8,000人以上とすること、③旧町村の分割は極力避けることを定めたほか、合併案の提示や町村合併に向けた説明会・研究会を定期的開催するなど、合併に向けた取り組みを精力的に進めました。これを受け、常陸大宮市域の各町村では昭和29年(1954)から合併に向けた協議が行われ、明治の大合併で成立した18町村全てが合併対象となりました。こうして、昭和30年(1955)～翌31年(1956)にかけて町村合併が相次いで成立し、大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村が発足することとなります。



▲旧大宮町の合併調印式(昭和30年)『大宮町 半世紀の記録』より転載)



▲旧山方町の町村合併関係書類(当館蔵)

◆分村合併と地域の混乱

昭和の大合併では、合併組織の発足からわずか1～2年という短期間で協議が進められました。しかし、円満に合意へ至った村がある一方、地勢上・交通上の理由から分村合併を希望する村や、意見がまとまらず合併不成立となる村も存在しました。常陸大宮市域で分村合併となったのは静村・世喜村・塩田村・下小川村の4村ですが、世喜村については住民投票によって大宮町・山方町への分村合併が決まったように、大きな混乱を生じぬまま合併へと至った一方、残る3村については合併先をめぐって激しい論争となり、村内の意思統一が困難な状況となっていました。特に、下小川村では大子町・山方町への合併を希望する派閥が対立し、山方町への合併を希望する集落が一斉に陳情書を提出するなど、村全体を巻き込んだ騒動となったほか、塩田村では分村合併の影響で照田地区が大宮町・山方町へ分かれるなど、地域運営にも重大な影響を及ぼしました。

	大宮町	山方町	市外
旧静村	石沢 上村田 下村田		静 下大賀 (那珂市)
旧世喜村	富岡 小倉 塩原 辰ノ口	小貫 照山	
旧塩田村	北塩子 西塩子 照田の一部	長田 長沢 照田の一部	
旧下小川村		家和楽 盛金の一部 久隆	西金 盛金の一部 (大子町)

▲表 昭和の大合併で分村となった村(市域)



空気が乾燥しやすい時期は注意！

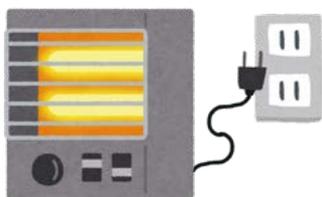
冬の暖房器具、正しく使っていますか？

寒さが厳しくなる季節、暖房器具は、私たちの生活を快適に保つために欠かせない存在です。しかし、使用方法を誤ると火災の原因になることがあります。暖房器具を安全に使用するための以下のポイントを守り、安全に冬を過ごしましょう。

暖房器具ごとに注意したいポイント

電気ストーブ

コードに傷や断線がないか確認し、使用中は周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。特に、コードとコンセントのつなぎ目部分は断線が起きやすい箇所です。曲げてみて、柔らかい場合には、断線している可能性が高いので、使用を中止しましょう。



石油ストーブ

石油ストーブは、不完全燃焼を起こして一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は、定期的に換気を行いましょう。

また、給油の際は、必ず火を消してから給油しましょう。火がついたまま給油をすると、こぼれた灯油に燃え移る恐れがあります。



エアコン

フィルターなど、エアコン内部にほこりがたまっていると、動作不良の原因になるだけでなく、最悪の場合、ほこりを通して漏電し、火災につながる場合があります。まずは、エアコンの前面パネルを開けて、フィルターにほこりがたまっていないか確認してみましょう。フィルターは定期的に掃除することで、暖房効率が上がります。



どの暖房器具でも就寝前・外出前には必ず電源を切りましょう

どの暖房器具でも、就寝や外出の前には必ず電源を切りましょう。寝ている間や、家を開けている間は、火災が発生しても気づきにくく、発火した際の対処が困難になってしまいます。暖房代の節約と火災予防をかねて、電源のオン・オフを適切に行いましょう。

また、「朝寒くて起きられないから部屋を暖かい状態で保っておきたい」「帰宅したときに暖かい部屋にしておきたい」などの場合、エアコンのある家であれば、タイマー機能を有効活用し、起床・帰宅に合わせて、エアコンがかかるように設定するなど工夫してみましょう。

住宅用火災警報器は大丈夫？ 10年ごとに交換を！

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、警報音などで火災の発生を知らせてくれます。火災にいち早く気づき、速やかな初期消火や通報、避難が可能になります。設置から10年が経つと、電池切れや機器の劣化で、煙や熱を感知しなくなる可能性があります。すべての住宅に設置が義務になり、10年以上経過した今、住宅用火災警報器の本体交換を行い、火災に備えましょう。





イリソ電子工業株式会社

住所 常陸大宮市上岩瀬 714-1

事業内容 製造業

茨城工場

採用のお問い合わせ ☎ 52-2731 ✉ ibarakikanri@irisoele.com
(担当：管理課 岩間)

Interview

菊池 涼太 さん

製造課に所属し、各部署で作られた部品で製品を組み上げる仕事をしています。ものづくりに興味があり、製造業で、自宅から通える距離の就職先を探していました。先に就職していた高校の先輩から話を聞いたことでイメージでき、入社を決める大きなきっかけになりました。新入社員への研修制度が充実しており、担当業務をしっかり理解してから、実務に取りかかることができました。



Instagram Photo gallery

常陸大宮市で撮影された Instagram 投稿をご紹介します！



「不動の滝」

Photo by @bakubike89819

市内の風景、イベント、何気ない日常など、「#常陸大宮市」「#常陸大宮」「#おみやファン」などのハッシュタグを付けてご投稿ください！



「宇留野公園」

Photo by @kazuppe2020

常陸大宮市
公式 Instagram は
こちらから



市の最新情報、ごみ収集日の通知機能などが便利なスマートフォン向けアプリ「ひたまるアプリ」をご利用ください！



iOS



Android

広報常陸大宮 令和7年1月号
(令和7年1月27日発行)
発行：常陸大宮市 編集：企画政策課
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6
電話 0295-52-1111
E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

常陸大宮市の人口
(1月1日現在)
人口：36,403人
(男性：18,001人／女性：18,402人)
世帯数：15,527世帯